

**決算説明資料
(2012年度)**

2013年 6月 3日

 **株式会社 重松製作所**

2012年度 決算概要

2012年度の総括

●当年度のわが国の経済は、復興関連需要等を背景にした緩やかな回復の動きが継続する中、欧州債務問題や新興国経済の減速等もあり、景気は先行き不透明感を払拭できない状況で推移しました。一方、新政権の経済政策や金融政策への期待から、円安・株高を背景に企業の生産活動や個人消費動向に明るさが見られる等、景気回復への期待感が徐々に高まってきております。

●このような経済環境の中、前年度に急増した原子力発電所向け呼吸用保護具に対する受注が、事故状況の対応の落ち着きにより大幅に減少したことから、当年度の売上高は92億41百万円と前年度比25.6%の減収となりました。

●一方、利益面では、受注の大幅減少に伴う生産体制整備の効果もあり、製品原価率は通常年並みの水準を維持しましたが、前年度比では、売上高の大幅減少により9%以上の悪化となりました。この結果、売上総利益は27億43百万円と前年度比で39.8%の大幅減少となりました。また、販売費及び一般管理費は、期初から人件費・諸経費の削減に注力したものの、積極的な新製品拡販活動による諸経費増が避けられず、25億70百万円と前年度比で13.0%の減少に止まりました。

●以上のことから、営業利益は1億73百万円（前年度比89.2%減）、経常利益は1億59百万円（前年度比89.9%減）、また、前年度等の過年度税負担を見込んだこともあり、当期純利益は54百万円（前年度比96.2%減）と、いずれも大幅な減益となりました。

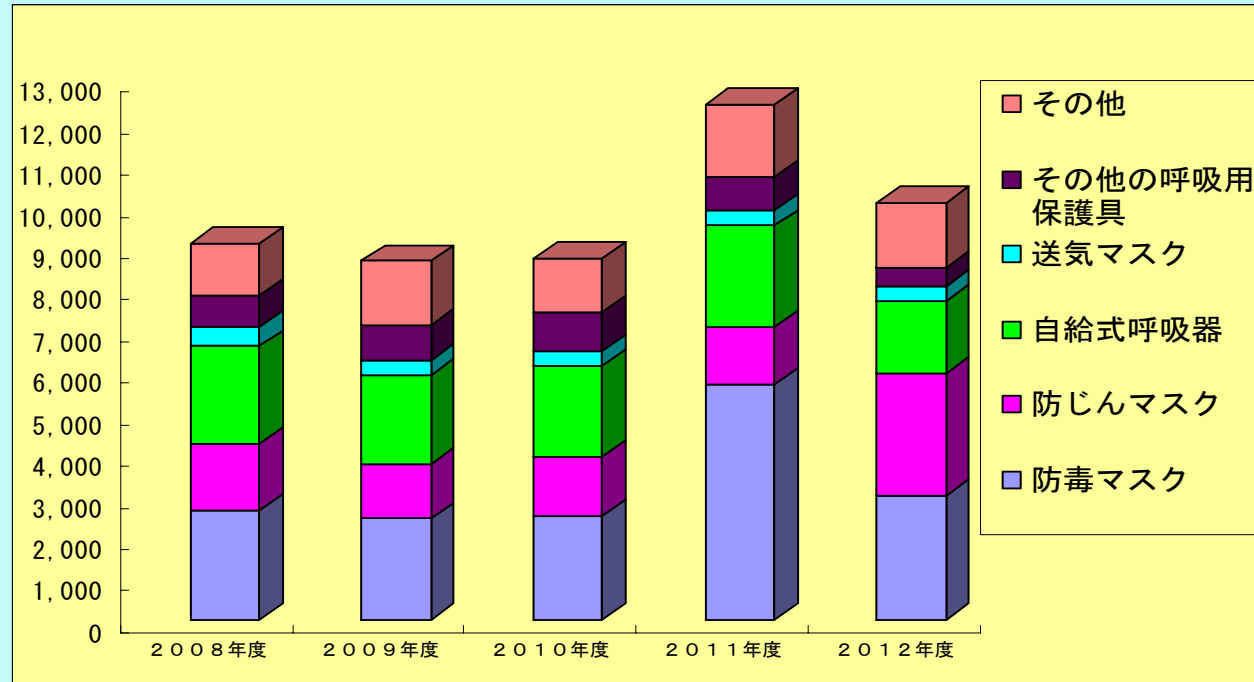
2012年度 損益の状況

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	2010年度	2011年度	2012年度		
			実績	前々期比増減	前期比増減
売上高	8,695.7	12,419.0	9,241.0	545.4	△ 3,178.0
製品製造原価	3,821.0	5,127.1	4,053.4	232.5	△ 1,073.6
商品原価	2,366.5	2,734.4	2,445.0	78.5	△ 289.5
売上原価	6,187.4	7,861.5	6,498.4	311.0	△ 1,363.1
売上総利益	2,508.2	4,557.5	2,742.6	234.4	△ 1,814.9
販売費及び一般管理費	2,257.6	2,954.4	2,569.7	312.2	△ 384.7
営業利益	250.7	1,603.1	172.9	△ 77.8	△ 1,430.2
営業外収益	69.9	73.2	76.2	6.3	3.1
営業外費用	135.8	106.6	90.4	△ 45.4	△ 16.1
経常利益	184.8	1,569.7	158.7	△ 26.1	△ 1,411.0
特別利益	406.4	1,137.8	—	△ 406.4	△ 1,137.8
特別損失	47.2	395.8	20.4	△ 26.8	△ 375.4
税引前当期純利益	544.0	2,311.6	138.3	△ 405.8	△ 2,173.3
法人税、住民税及び事業税	202.2	792.1	5.3	△ 196.9	△ 786.8
過年度法人税等	—	—	26.6	26.6	26.6
法人税等調整額	2.1	111.1	52.8	50.6	△ 58.3
当期純利益	339.7	1,408.4	53.6	△ 286.1	△ 1,354.8

セグメント別売上高推移

(単位：百万円)



当年度の特徴

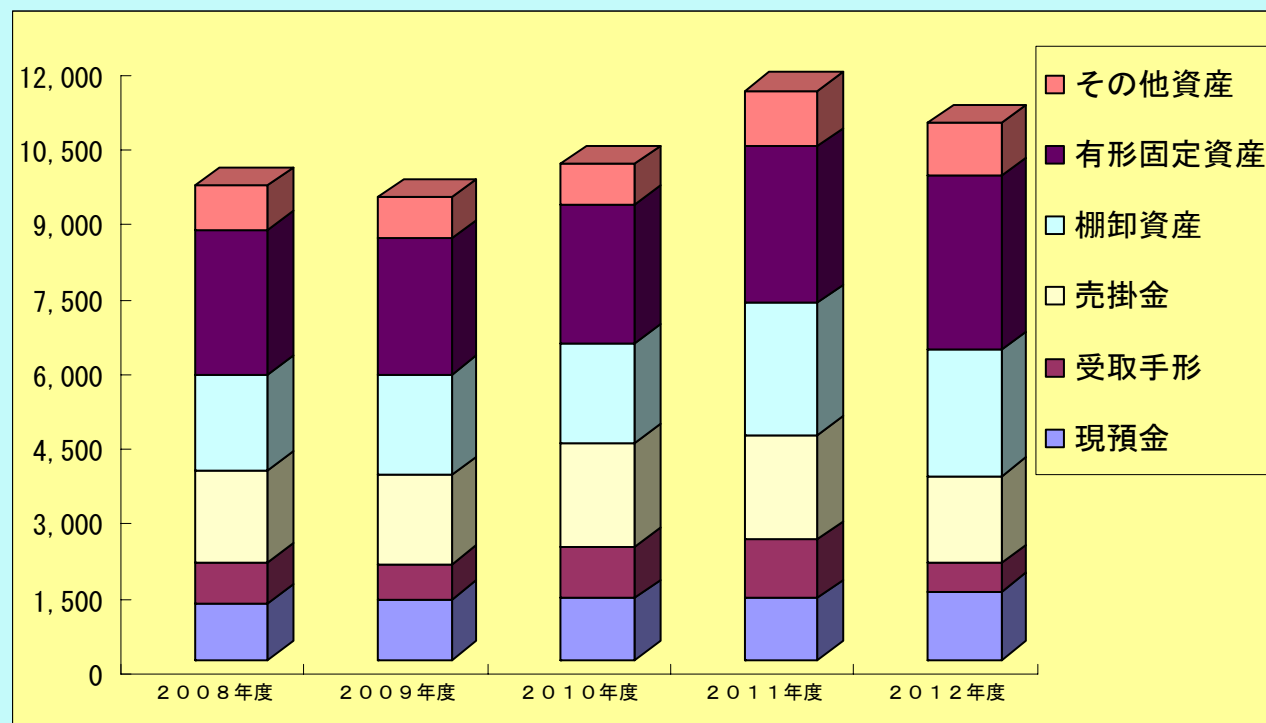
- ① 当年度のわが国の経済は、震災復興需要等による緩やかな回復の一方で、欧州債務問題や新興国経済の減速等もあり、景気は依然として先行き不透明な状況で推移しました。
- ② このような環境の中、前年度に急増した原子力発電所向けの需要は、事故状況の相応の落ち着きにより、大幅に減少し、売上高は、前年度比31億78百万円の大幅減収となりました。
- ③ 主要品目別では、防毒マスクが、前年度比26億85百万円の大幅減少となり、防じんマスクは3億2百万円の増加となりました。
- ④ 自給式呼吸器も、震災需要の減少もあり、前年度比で2億23百万円の減少となりました。また、送気マスクは微増となり、上記以外の主要品目については、減少しました。

単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
防毒マスク	2,658.1	2,442.1	2,489.9	5,666.1	2,981.0
防じんマスク	1,592.5	1,334.3	1,449.4	1,406.5	1,708.8
自給式呼吸器	2,340.8	2,130.0	2,165.6	2,413.4	2,190.9
送気マスク	446.8	339.7	391.2	370.1	380.4
その他の呼吸用保護具	788.0	870.7	915.7	827.1	444.4
その他	1,246.5	1,526.1	1,283.9	1,735.8	1,535.4
合計	9,072.8	8,643.0	8,695.7	12,419.0	9,241.0

主要資産状況推移

(単位：百万円)



当年度の特徴

- ① 現預金は、期末の短期借入金の返済額を抑えたこともあり、前年度末比1億40百万円増加しました。
- ② 売上債権（受取手形＋売掛金）残高は、売上高の大幅減少により、9億61百万円の減少となりました。
- ③ 棚卸資産は、製品・商品が横ばい、仕掛品が増加、材料が減少し、全体では1億16百万円の減少となりました。
- ④ 埼玉事業所の新工場建設を主因として、有形固定資産残高は3億51百万円増加しました。
- ⑤ その他資産は、投資有価証券の増加、繰延税金資産の減少等により、全体として54百万円減少しました。

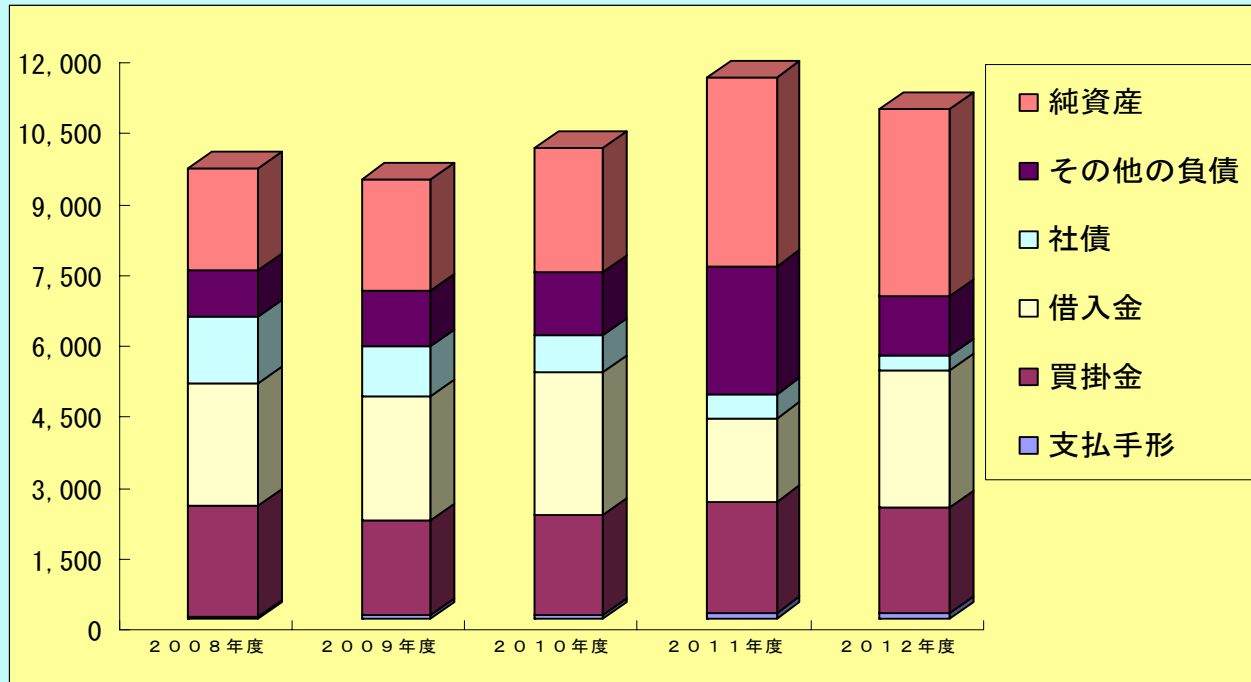
単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
現預金	1,140.0	1,220.9	1,229.0	1,232.5	1,372.2
受取手形	815.3	703.4	1,053.1	1,186.3	573.6
売掛金	1,845.7	1,776.5	2,070.0	2,097.5	1,749.5
棚卸資産	1,920.0	2,025.1	2,005.0	2,642.3	2,525.8
有形固定資産	2,909.3	2,730.7	2,774.0	3,132.1	3,482.8
其他資産	886.1	816.7	814.8	1,121.2	1,067.7
合計	9,516.4	9,273.2	9,946.0	11,411.9	10,771.6

注：本表における受取手形には、手持受取手形の他、債権売却未収入金の受取手形を含んでいます。債権売却手形（資金化分）は、簿外のため含まれていません。

主要負債・純資産状況推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

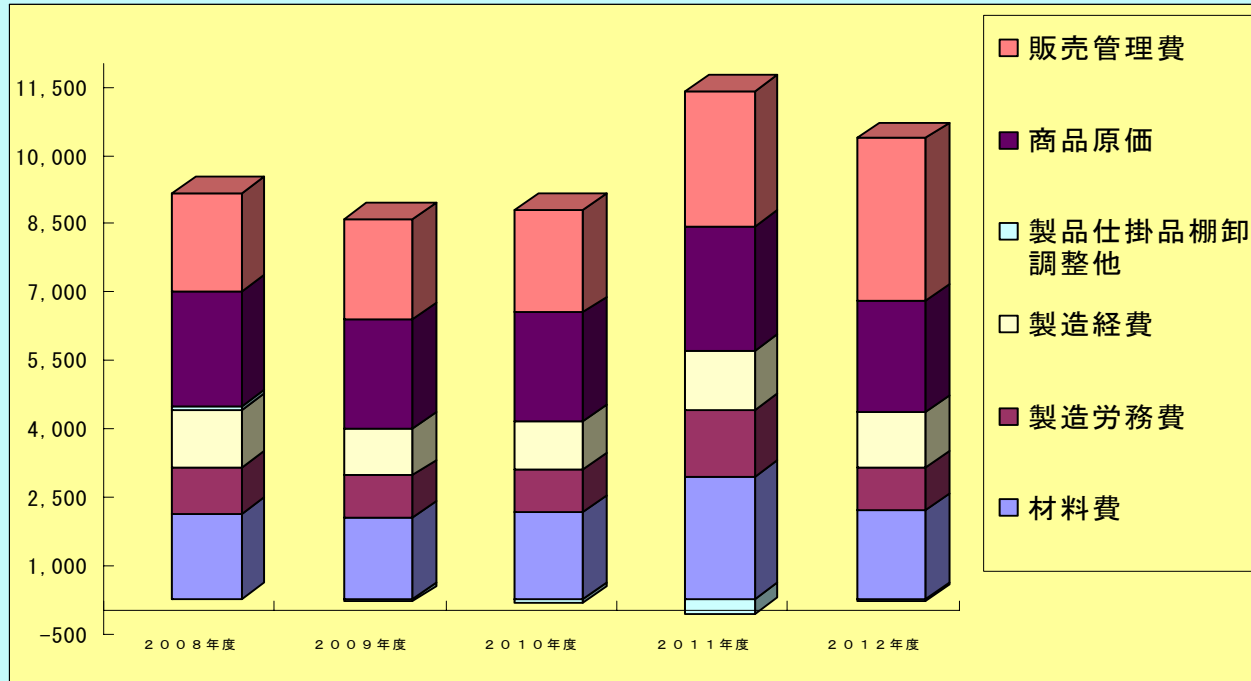
当年度の特徴

- ① 支払債務（支払手形＋買掛金）残高は、埼玉事業所新工場稼働計画に伴い在庫積み増し対応を行ったこともあり、前年度末比、売上債権ほどの減少はありません。
- ② 埼玉事業所新工場建設に伴うシンジケートローンや年度資金の調達等により借入金及び社債の残高は、前年度末比では9億27百万円増加しましたが、2011年度以前の水準からは、大幅に減少しています。
- ③ 未払費用、未払法人税、繰延税金負債等の減少により、その他の負債は、前年度末比で14億27百万円減少しました。
- ④ 純資産の残高は、前年度末比で微減の39億74百万円となりました。

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
支払手形	40.4	61.2	60.6	117.3	102.2
買掛金	2,319.2	2,018.8	2,107.2	2,350.6	2,247.9
借入金	2,619.7	2,601.2	3,022.7	1,746.8	2,884.8
社債	1,409.7	1,075.9	772.1	529.6	318.3
その他の負債	970.5	1,168.6	1,337.6	2,671.7	1,244.6
純資産	2,157.0	2,347.5	2,644.8	3,995.9	3,973.9
合計	9,516.4	9,273.2	9,946.0	11,411.9	10,771.6

売上原価・販売管理費推移

(単位：百万円)



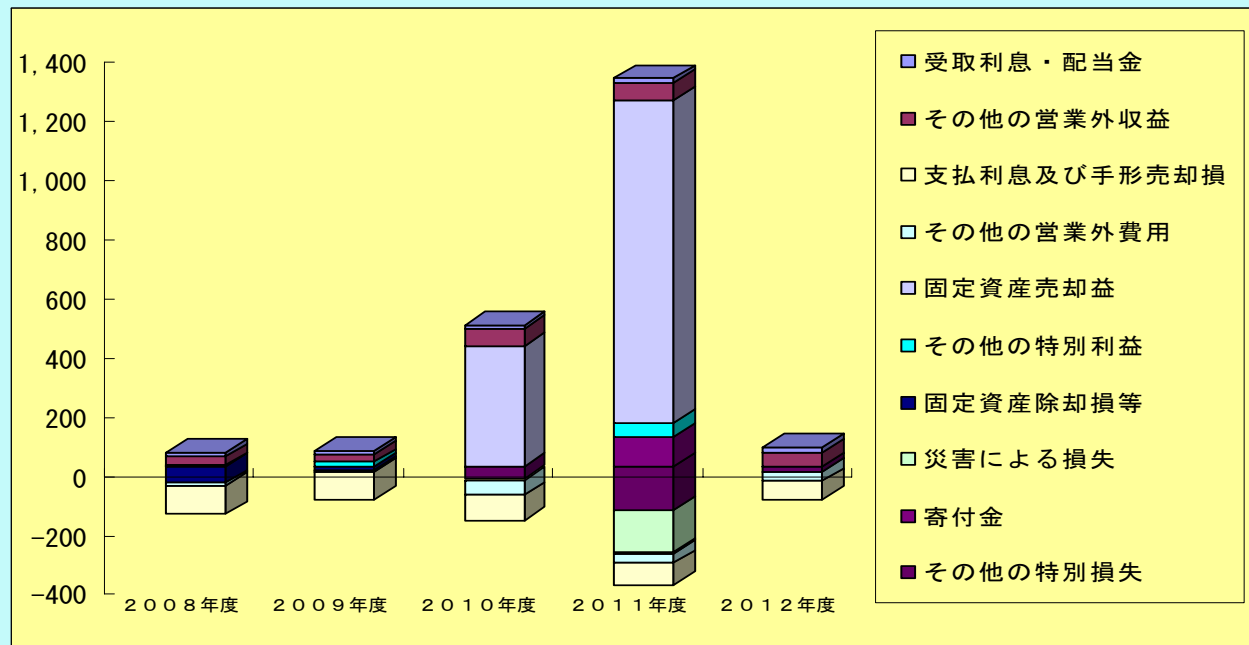
単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
材料費	1,850.4	1,800.9	1,897.7	2,664.4	1,960.1
製造労務費	1,041.5	901.3	948.4	1,481.7	919.3
製造経費	1,267.7	1,037.9	1,066.3	1,297.3	1,209.7
製品仕掛品棚卸調整他	54.0	△ 63.9	△ 91.5	△ 316.3	△ 35.6
商品原価	2,526.3	2,410.3	2,366.5	2,734.4	2,445.0
販売管理費	2,160.0	2,180.0	2,257.6	2,954.4	2,569.7
合計	8,900.0	8,266.5	8,445.0	10,815.9	9,068.2

当年度の特徴

- ① 製造部門は、期初から通常の生産体制に戻したことから、製品原価率はほぼ通常年並みの水準を維持しました。しかし、前年度との比較では、売上高大幅減少の影響により、9ポイント以上の悪化となりました。
 - ・材料費は、受注の大幅減少に伴い、仕入も大幅に減少した結果、前年度比で7億52百万円減少しました。
 - ・製造労務費は、期初から通常の生産体制に戻したことから、前年度比で5億62百万円減少しました。
 - ・製造経費は、効率的な経費運営に注力したものの、埼玉新工場の建設・稼働による諸経費増もあり、前年度比で88百万円の減少に止まりました。
- ② 商品原価は、効率的な商品仕入に注力したことから、前年度比で2億89百万円の減少となりました。
- ③ 販売費及び一般管理費は、期初から人件費・諸経費削減に注力したものの、積極的な新製品拡販活動による諸経費増もあり、前年度比では3億85百万円の減少に止まりました。

営業外・特別損益推移



(単位：百万円)

当年度の特徴

- ① 受取利息・受取配当金は、前年度比で増加、その他の営業外収益は、前年度で減少となりました。
- ② 借入金の金利見直しに伴い、支払利息は減少、債権流動化の導入もあり、手形売却損も減少しました。
- ③ 前年度、前々年度の利益に貢献した固定資産売却益は、当年度はありません。
- ④ 特別損失については、埼玉事業所新工場建設に伴う旧工場の取り壊し費用を計上しております。

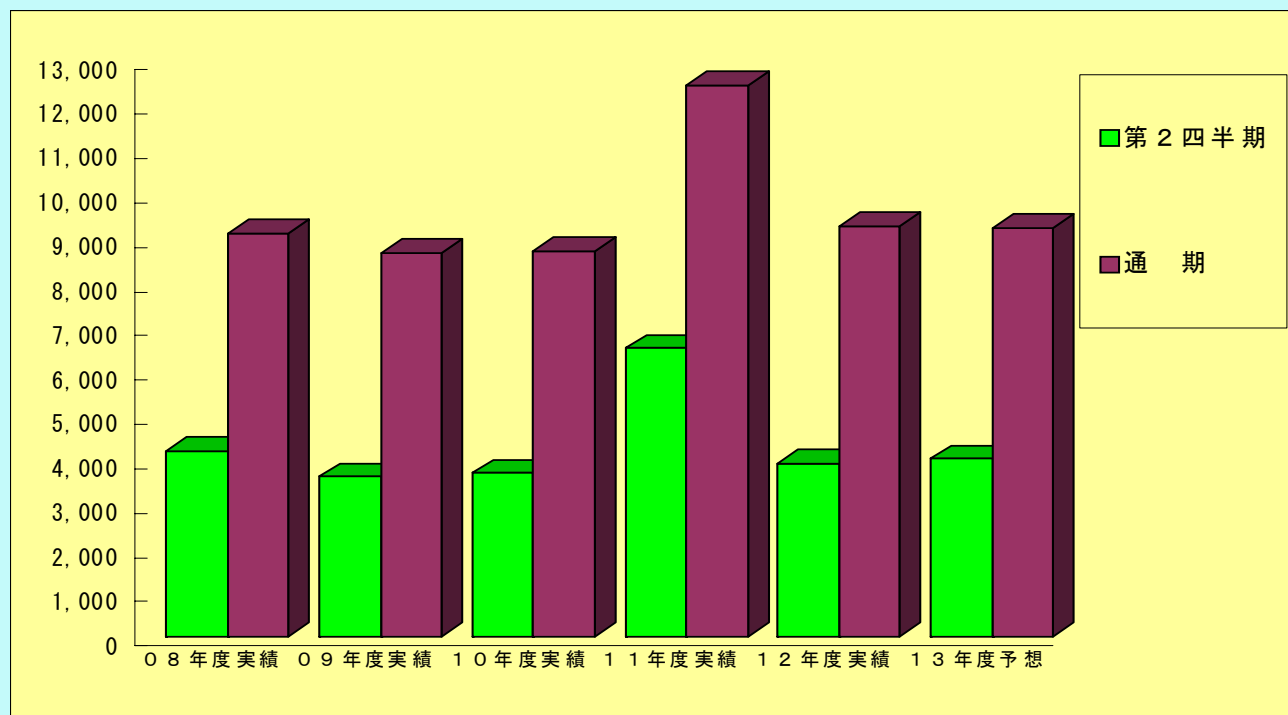
単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	
営業外損益	受取利息・配当金	13.6	13.8	12.4	15.8	29.3
	その他の営業外収益	29.2	26.4	57.5	57.3	47.0
	支払利息及び手形売却損	△ 95.9	△ 92.3	△ 84.1	△ 74.4	△ 59.3
	その他の営業外費用	△ 10.0	△ 7.9	△ 51.7	△ 32.1	△ 31.2
	営業外損益合計	△ 63.1	△ 59.9	△ 65.9	△ 33.4	△ 14.2
特別損益	固定資産売却益	—	—	405.9	1,089.5	—
	その他の特別利益	1.1	13.8	0.5	48.3	—
	固定資産除却損等	△ 56.8	△ 10.9	△ 1.5	△ 6.5	△ 3.9
	災害による損失	—	—	△ 4.2	△ 143.0	—
	寄付金	—	—	—	△ 100.0	—
	その他の特別損失	—	—	△ 41.5	△ 146.3	△ 16.5
特別損益合計	△ 55.7	2.9	359.2	741.9	△ 20.4	

2013年度 業績予想

2013年度の売上予想

(単位：百万円)



予想のポイント

2013年度におけるわが国経済は、各種の政策効果等を背景に、景気の先行き全般に明るさが見え始めてきておりますが、その一方で、原材料価格の高騰や欧州・新興国経済の減速懸念等の不確定要因も多く、一部では予断を許さない不透明な状況で推移していくものと思われます。

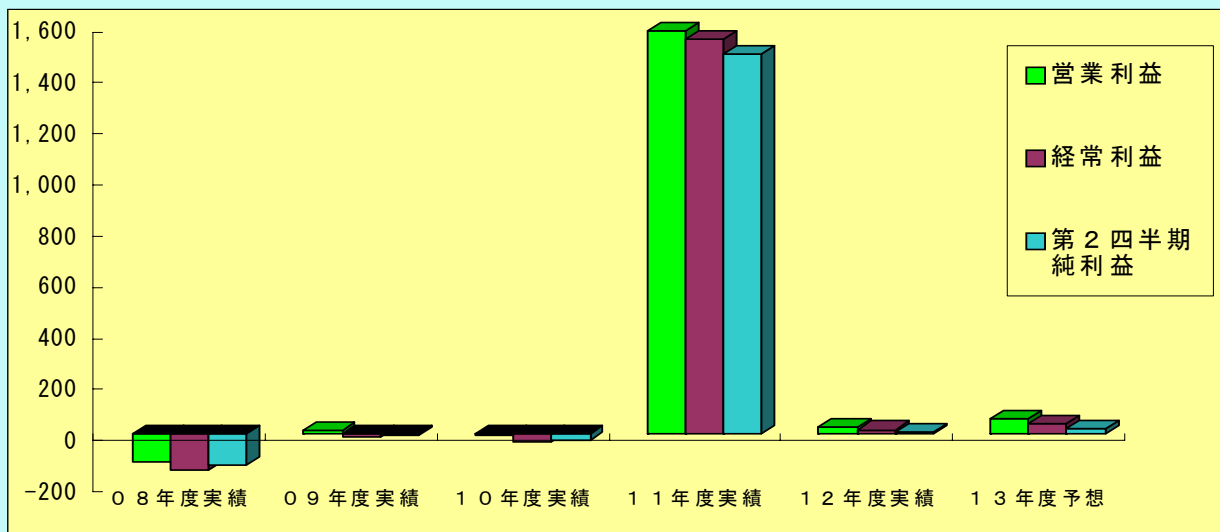
このような経済環境の中、原子力発電所関連の受注については、今後も一定水準以上は継続していくと見込まれます。さらに、新製品開発力の強化を図り、積極的できめ細かい販売活動に注力することで、2013年度の売上高は、前年度比ほぼ横ばいの92億円を見込んでいます。

単位：百万円、小数点未満四捨五入

	08年度実績	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度予想
第2四半期	4,179	3,602	3,677	6,489	3,905	4,000
通期	9,073	8,643	8,696	12,419	9,241	9,200

2013年度 第2四半期の利益予想 (単位：百万円)

予想のポイント



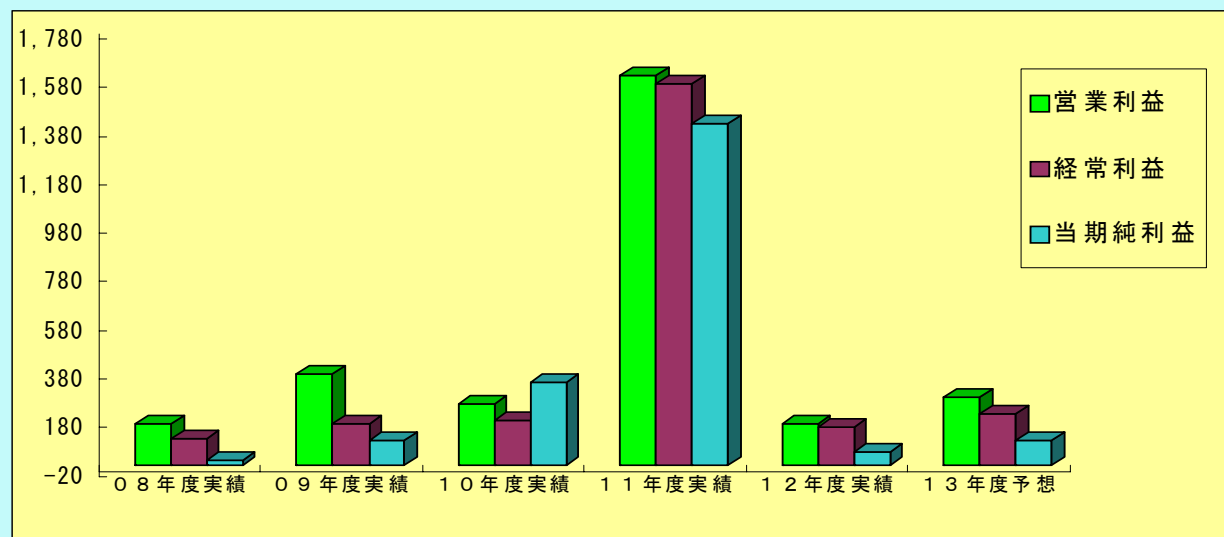
2013年度第2四半期は、前第2四半期以上の売上高により、営業利益、経常利益、第2四半期純利益ともに、相応の黒字を維持するものと見込んでいます。

単位：百万円、小数点未満四捨五入

	08年度実績	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度予想
営業利益	△108	16	△4	1,576	28	60
経常利益	△140	△14	△31	1,548	18	40
第2四半期純利益	△124	△7	△23	1,488	10	20

2013年度 通期の利益予想 (単位：百万円)

2013年度通期は、先行きの景気動向に不透明さはあるものの、原子力発電所関連の受注や積極的な新製品の拡販等により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益を見込んでいます。



単位：百万円、小数点未満四捨五入

	08年度実績	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度予想
営業利益	173	376	251	1,603	173	280
経常利益	110	317	185	1,570	159	210
当期純利益	22	190	340	1,408	54	100